

科目名	精神保健福祉援助実習	前期～後期	実習	5 単位
サブタイトル				
担当者	田中 希世子、植戸 貴子、小笠原 慶彰、佐々木 勝一			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標] 精神保健福祉援助実習を通して、精神保健福祉援助並びに障害者等の相談援助に係る専門知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する</p> <p>[授業概要] 精神保健福祉援助実習を通して精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について把握する。精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握など、総合的に対応できる能力を習得する。総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職の連携のあり方及びその具体的な内容を実践的に理解する。 精神保健福祉士実習演習担当教員講習会を修了した教員による巡回指導を実施する。</p> <p>[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 既習の専門科目、共通科目、関連科目の内容に関して繰り返し学び覚えて、実習先で遭遇するさまざまな機関や機能、人々やできごとが理解できるよう、いつでも利用可能な知識になるよう準備しておくこと</p> <p>[授業計画] 1. 精神科病院等医療機関の実習においては、次の事項を経験し、実習先の実習指導者による指導を受ける ①入院時または急性期の患者及びその家族への相談援助 ②退院または地域移行・地域支援に向けた、患者及びその家族への相談援助 ③治療中の患者及びその家族への相談援助 ④多職種や病院外の関係機関との連携を通じた援助 ⑤日常生活や社会生活上の問題に関する患者及びその家族への相談援助</p> <p>2. 地域の障害福祉サービス事業所の実習においては、次の事項をできる限り経験し、実習先の実習指導者の指導を受ける ①利用者やその関係者、施設・機関・事業者・団体、住民やボランティアなどとの基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成 ②利用者理解とその需要の把握及び支援計画の作成 ③利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との支援関係の形成 ④利用者やその関係者への権利擁護及び支援とその評価 ⑤精神医療・保健・福祉に係る多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実践 ⑥精神保健福祉士としての職業倫理と法的義務への理解 ⑦施設・機関・事業者・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解 ⑧施設・機関・事業者・団体の経営やサービスの管理運営の実践 ⑨当該実習先が地域社会の中の施設・機関・事業者・団体等であることへの理解と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関する理解</p> <p>3. 巡回指導等を通して、実習事項について学生及び実習指導者との連絡調整を行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う 帰校日指導については、遠隔授業で行う予定</p>				

科目名	精神保健福祉援助実習	前期～後期	実習	5 単位
サブタイトル				
担当者	田中 希世子、植戸 貴子、小笠原 慶彰、佐々木 勝一			
<p>[成績評価方法] 実習機関による評価(50%)、実習記録の内容(20%)、巡回指導、帰校日指導等における指導内容(30%)により総合的に評価する</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 巡回指導及び帰校日指導の内容等をもとに、あらためて相互に検証します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉1-1/多様な福祉課題を客観的に読み解き、その解決法を見出すために必要な社会福祉の専門的な知識を備えている。 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉1-2/多様な福祉課題の解決に向けて、社会に貢献していくために必要な社会福祉の専門的な技能を身につけている。 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉2-1/家庭・地域社会・職場などで発生する多様な福祉課題に気づき、それをクリティカルに読み解くために求められる思考力を有している。 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉2-2/多様な福祉課題の解決に向けて、人々の日常生活や社会生活を、福祉の視点で捉えるのみならず、人々の文化的背景も大切にしながら、包括的にマネジメントするために必要な判断力と実践力を有している。 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉2-3/福祉・保健・医療・教育・心理などの専門職から当事者・地域住民まで、幅広い機関・団体や人びととの信頼関係を築き、豊かなコミュニケーションを図るために必要な共感性と表現力を備えている。 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉3-1/家庭・地域社会・職場において一市民としての自覚を持ち、また社会福祉専門職としての使命感を持って、社会に貢献していくための主体性を備えている。 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉3-2/現代社会における人びとのダイバーシティ(多様性)を尊重し、すべての人を等しく大切にできる柔軟で寛容な姿勢を有している。 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:福祉3-3/誰もが等しく大切にされる公正な社会を築くために、異なる背景や価値観をもつ人びとも対等かつ民主的な関係性(パートナーシップ)を形成し、協働していく力を有している。 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画力・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習機関による評価、実習記録の内容、指導内容</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 適宜資料を配布する</p>				